

「服装のきまり」について

1 帽子

- 1年生は、赤い方を表にしてかぶる。
- 2年生以上は、白い方を表にしてかぶる。

2 標準服（下着（上）はシャツからはみださない。）

<男子>上着、白の開襟シャツ、ズボン

<女子>上着、白の丸襟シャツ、スカート

- 開襟シャツ・丸襟シャツの代わりに、白のポロシャツ（無地）を着用してもよい。
- 儀式的行事（始業式・終業式）のときは、開襟シャツ・丸襟シャツを着用する。

3 ネーム：全学年学校指定のもの

- 全学年、取り外しできるネームをつける。

4 靴下：白色（無地）のスクールソックス

- 丈は、くるぶしの上の部分から膝下までとする。

スニーカーソックス等(短いもの)、ワンポイントは認めない。ただし、靴下の底の色は問わない。

5 靴：白色の運動靴（トレーニング・アップシューズ等は不可）

6 上履き：購買部で上履きとして扱っている同タイプ（かかと・甲に記名）

7 体育服：指定（白色）

- 冬場は、長袖の体育服・トレーナー（上）の着用を認める。また、体が温まるまでの、ジャージの長ズボンの着用も認める。セーター・タイツなどは安全面・動きやすさなどの観点から認めない。

※ トレーナーについては白・グレー・紺・黒のいずれか一色で、無地またはワンポイントのみ許可する。フード付きは認めない。

- 前後にゼッケン（色、学級の指定あり）をつけ、記名をする。

- クォーターパンツ：指定（青色）

8 体育館シューズ：指定（黄色のラインタイプ）

9 冬の寒いときの服装

- 標準服だけで寒いときは、上着の下にベスト・セーター（紺系統の無地）・フード無し^のトレーナー（白・グレー・紺・黒のいずれか一色で、無地またはワンポイントのみ）を重ね着してよい。トレーナーは、上着の中に納まるサイズであること。校内では一番上に上着を着る。カイロは使用してはいけない。

- 積雪時や登下校時の気温が10度を下回る際

- ① 登下校時のみ、防寒着を着用してよい。（コート・ベンチコート・フード付きは不可）

- ② 登下校時のみ、手袋やマフラー（ネックウォーマー）をつけてもよい。ただし、両方とも教室でつけ外しするようにする。また、マフラーはあまり長くないものを着用し、端は上着に挟み込むなどして安全面に気を付ける。

- ③ ジャージ・スパッツ・タイツを着用してよい。ただし、華美でない、黒や紺のものに限る（スカートの下にジャージ着用は不可）。ジャージ着用の場合はズボンやスカート、タイツ等着用の場合は靴下を持参し、日中気温が上がった場合脱ぐ。

※ 厳寒期は校内での着用を認める。

10 女子の髪型

- 長いものについては、一つか二つにくくる。髪留め・ゴムは、黒・紺・茶系を基本とする。また、シュシュは認めない。

※ 学校指定のものは、すべて購買部にて販売している。